

事業所名		「みんなの安全基地」					公表日	令和 7 年 3 月 17 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・基本個別的に各個室で対応している。 ・敷地も含めれば広大なスペースが確保されている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・個別対応できる職員体制を敷いている。 ・手厚い職員体制が敷かれている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		・各個室の名称をもっとわかりやすく呈示した方が良い。 ・バリアフリー対応とまでは言えないかも。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・できる限りの清掃は行っている。 ・定期的に玩具等の点検も行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・自由に過ごせる大部屋以外にも、子どもらが使用可能な個室が三つ完備されている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		・明確化、明文化までできていない。 ・チェック機能はまだまだ。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・保護者との個別面談時に保護者の意向確認は随時行っているが。	・今回は初めての実施となる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・もう少しそうした機会があれば、と。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	・第三者的な立場としての非常勤職員が存在しているが。	・今現在のところ未実施。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・可能な限り実施しているが、今後はもっと積極的に実施していきたい。	・もっとそうした機会を設けた方が良い。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・臨床心理学的支援を中心とした療育施設であることを公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・アセスメント作業を徹底し、それに基づいた支援策を作成することこそ、臨床心理学的支援の核となる。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2		・全体の共通理解が足りていない。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・共通理解が足りていない。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・標準化されたツールは用いていないが、様子観察を中心としたアセスメント作業は徹底している。	・標準化されたアセスメントツールも今後使用していったらと思う。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		・具体性は少し弱いかも。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	・一定程度は達成されているが、時間的、労力的制限により、責任者主導という形となっている。	・管理者の独断で決定されることが多い。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・児童の状態、また家庭内状況に応じて、柔軟に対応している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・各児童の特性、状態に合わせて支援計画を作成し、支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・業務開始時に朝礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		・送迎等により、勤務時間中にその日の振り返りを行うことは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日報を書き残すことは、日々の当然のルーティン業務となっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・アセスメントを繰り返し続けることも臨床心理学的支援の中核的な作業となる。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・各種関係機関関係者とは概ね連絡を取り合っている。	・医療関係者との連携はイマイチかも。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		・開所後まだ間もないため、まだそうした業務は行っていないのでは。 ・今後必要となる業務と思われる。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5		・そうした活動は今年度実施できていない。 ・今後そうした機会も設けてもらえたら。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		・そこまで意識が向けられていない。 ・今後そうした機会も設けていけたら。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・一定程度できているのではと思う。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		・現状とてもそこまではできていない。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・最低限の情報は丁寧に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者さまとのコミュニケーションを大切にしている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・各保護者さまに丁寧に説明させていただいている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・全ての保護者さまへの定期的な個別面接を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		・現状また今後暫く、そうした活動を実施することは難しいと思われる。 ・できたらいいな、とは思おう。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・日頃からのコミュニケーションにより、小さな苦情の段階で解決できたかな、と。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	4		・SNS等での発信は今後の課題でもある。 ・慎重に行う必要もあるだろう。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報は鍵付き書庫で保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・情報管理、秘密保持は徹底している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		・地域に開かれてはいるが、行事に招待するまではちょっと。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	8		・当施設の喫緊の課題である。早急に完成させる必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	8		・当施設の喫緊の課題である。早急に完成させる必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・健康管理、安全管理の意識を高く持つ。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・最低限の情報は把握できている。	・指示書に基づく対応とまではできていないような気もする。そのような児童が今現在在籍していないこともあるが。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	6		・安全管理の意識はあるが、研修や訓練といったものまでは受講できていない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	・できているもの、できていないものを説明している。できていないものは、早急に対応策を講じていく予定。	・まだまだできていないことが多い。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・その都度、対応策を検討し実施している。	・事前に対策できることもまだまだ多くあるのではないかと。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	3	・虐待はどこにでもあるという意識を持って子どもらの様子を見守っている。	・もっと意識を高めていく必要も。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	6		・そのような対象児童は今現在のところ不在籍していない。	